

競技上の注意

1. 本大会は、平成29年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、及び公認審判員規程により運営する。

本大会で使用する用器具は、公益財団法人日本バドミントン協会検定合格品とし、シャトルは平成29年度公認第一種合格品を使用する。

大会開催中に熱中症等の発生が予測される状況になった場合は、競技役員長の判断により選手の健康状態・試合進行状況をみて、競技会場の換気を実施する。

2. 参加申込み後の監督・選手変更は、疾病、傷害等の特別な場合以外は認めない。監督・選手に変更がある都県は、所定の様式に都県体育協会会長、都県バドミントン協会会長の承認印を押印の上、監督会議の開催前までに監督会議受付に提出するものとする。

3. オーダーの交換について

- (1) オーダー用紙は、大会本部用・相手チーム用・自チーム用の3枚複写のものを使用する。
- (2) ブロック別リーグ戦に使用するオーダー用紙は、監督会議で配布する。
- (3) 第1試合のオーダー交換は、両日とも午前8時40分から本部席横で行う。第2・第3試合のオーダー交換は、会場アナウンスによって連絡する。
- (4) 8月20日(日)のオーダー用紙は、ブロック別リーグ戦終了後、大会本部で配布する。

4. 練習について

- (1) 練習時間及び練習コートの割り当ては、監督会議の資料による。
- (2) 試合開始前の空コートでの練習は認めない。
- (3) 試合開始前の練習は、対戦相手との挨拶終了後、各チーム3分以内の練習を認める。
 - 8月19日(土)のブロック別リーグ戦では、各ブロックの若い番号のチームから行う。
 - 8月20日(日)の通過決定戦では、Aブロックのチームから行う。

5. インターバルについて

- (1) すべてのゲームにおいて、先行するサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。

6. ベンチ席について

- (1) ベンチ入りは、当該チームの登録された監督・選手のみとする。
- (2) 8月19日(土)のブロック別リーグ戦では、各ブロックの若い番号のチームが主審に向かって右側のベンチとする。
- (3) 8月20日(日)の通過決定戦では、Aブロックのチームが主審に向かって右側のベンチとする。

7. 競技の服装について

- (1) 競技に着用するウェア(上衣)背面中央には、縦15cm、横30cmの範囲で都県名を明示すること。都県名の文字は漢字とし、文字の大きさについては大会運営規程第24条による。
また、ウェア(上衣)背面の色と都県名の色が明確に区別できるものとする。
- (2) 色付き着衣を使用する場合は、公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品とする。

(3) 監督についても、競技の品位を損なう着装は認めない。

8. 携帯電話・モバイル機器について

(1) 競技フロア内では、ベンチ入りした監督・選手は携帯電話の電源を切るか、マナーモードにすること。

(2) 試合中、携帯電話・パソコン等、それに類似したいかなるモバイル機器も使用してはならない。

審判上の注意

1. 審判員の構成

(1) 本大会の審判は、群馬県バドミントン協会で行う。

(2) ブロック別リーグ戦の審判員は、主審1名、線審2名、得点表示1名で構成する。

(3) 通過決定戦の審判員は、主審1名、サービスジャッジ1名、線審2名、得点表示1名で構成する。

2. 会場内の天井や付属物にインプレー中のシャトルが当たった場合は、フォルトになる。

3. 主審が認めたプレーの中断以外は、プレーヤーがプレーの遅延を故意に働いたり、中断してはならない。

4. 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレイヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異論であってはならない。

5. シャトルの交換については主審の指示に従う。なお、一対抗戦は同一銘柄で固定とする。銘柄の変更については応じないものとする。